



喜多賀

初詣のご案内

当神社では例年通り御本社、御旅社ともに
一月一日 午前0時〜午後五時頃まで開門
いたします。また、新年のお守り、御神札など
の授与も午前0時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、新年の無病息災、開
運招福を祈念して初詣にどうぞお参り下さい。

新年祈禱について

新年のご祈禱につきましては必ず年内にお
電話等でご予約下さい。飛び入りではお断り
致しております。なお、団体での新年祈禱に関
しては全て御本社で執り行っております。

また一月四日から十五日にかけては、茶屋
町の御旅社ではご祈禱はお受け付け出来ませ
んのでご注意下さい。

御本社(神山町) 〓 〇六―六三六―二八八七

御旅社(茶屋町) 〓 〇六―六三七―一五八六

御神札の祀り方

基本的には、お受けになられる方が一番大
事にしたい神さまの御神札をお祀りになられ
れば結構ですが、本義に基づいてお祀りされ
るのであれば、

- ① 伊勢の神宮の御神札(神宮大麻)
 - ② 氏神さまの御神札(梅田の場合は当宮)
 - ③ 個人的に崇敬されているお宮の御神札
(商売繁盛であればお稻荷さんなど)
- の順番でお祀りされると良いでしょう。



三社造りの神棚の場合



一社造りの神棚の場合
(神宮大麻を先頭に、重ねてお祀りします)

御神札と御守について

新年には新しい御神札と御守を神社で受け
ますが、どちらが良いのかといったお問い合
わせを近頃よく頂きます。答えから申し上げ
ますと、どちらでも結構ですが、御神札はご
家族や団体向け、御守は個人向けと捉えて頂
いても良いかと思えます。御神札は神棚を据
えて、そこにお祀りしますので、ご家族全体を
神さまがお見守りになられるという形になり、
御守はそれぞれの身の回りのものに付ける場
合が多く、間近で神さまに見守って頂くとい
ったものとなります。

ですので御神札は、地元の氏神さまのもの
を必ずお祀りし、御守も地元の神社が第一で
すが、それぞれの願いと御神徳に合ったお宮
の御守を別に受けられても良いでしょう。

ただ、どちらも神さまからお授け頂いたも
のですので、粗末な扱いをする事は厳禁です。
ほこりをかぶったままの御神札や、擦り切れ
て汚れてしまった御守などにならないよう注
意しましょう。

なお、一年間お祀りした御神札や、御守はそ
の年の暮れ、または初詣の際に感謝の祈りを
御神前でお込めしてからお返しし(古札納め所
などにご返納下さい)、その後で新しい新年の
御札や御守をお受けしましょう。

今月の暦

【祭日】 年越大被(廿一日)：半年間の罪穢れを祓う
除夜祭(廿一日)：新年も引き続きのご加護を祈

念し、初日の出が昇るまで
灯し続ける火(霊)を熾す神事

【節気】 立冬(七日)：季節が冬となる頃
小雪(廿二日)：僅かに雪が降り始める頃

【雑節】 針供養(八日)：日頃使う針に感謝。裁縫上達。

【大安】 十二月一日、七日、十三日、十八日、廿四日、卅日
十二月一日、七日、十三日、十八日、廿四日、卅日

【祝日】 天皇誕生日(廿三日)

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀 知

